

a-2 農業組合、漁業組合との連携による情報収集（富有柿）

【ヒアリング実施概要】

- 富有柿栽培現場で感じている気候変動影響に関する情報を収集。
- 令和2年度岐阜県気候変動適応センター共同研究事業で研究のテーマとなった富有柿に関係したステークホルダーへのヒアリングを実施。
- アンケートでは気候の変化の実感以外に、現時点で講じられている工夫や対策、栽培作物の転換について検討されているかなど、より踏み込んだ聞き取りを実施。
- 富有柿農家（岐阜市、瑞穂市、本巣市、大野町）15件にヒアリングを実施。

【ヒアリング項目】

- 「近年の柿栽培で感じる気候や気象の変化」「具体的な温暖化影響」「影響と思われる原因」等

【実施期間】

- 令和3年10月～12月

【実施者】

- 岐阜県気候変動適応センター
- 岐阜県農業経営課
- 岐阜県農業普及員

等



a-2 農業組合、漁業組合との連携による情報収集（富有柿）②

【聞き取り結果 概要】

〈問6. 近年、柿の栽培を行っていく中で、気象や気候の変化を実感することはありますか〉

- ヒアリングを行った15件の富有柿農家全てが気候の変化を実感している。

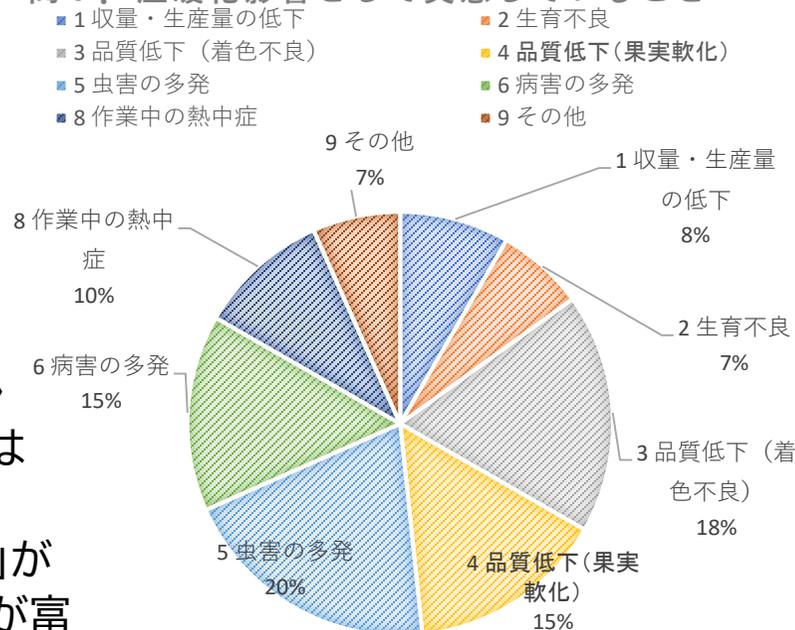
〈問7. 柿を栽培していて、温暖化による影響として実感していることはありますか(複数回答可)〉

- 「**虫害の多発**」が最も多く、次いで「**品質低下(着色不良)**」が回答としては多かった。
- 現場では果実の着色不良だけでなく、温暖化による**病害虫の越冬**についても大きく問題視されている。

〈問8. その影響の原因は何だと思えますか(複数回答可)〉

- 「**多雨**」が最も多く、次いで「**気温が高い**」が回答としては多かった。
- 現場では温暖化による影響には「多雨」や「気温の高さ」が関係していると考えられており、極端な気象現象の影響が富有柿栽培の現場に大きな影響を及ぼしている。

問7. 温暖化影響として実感していること

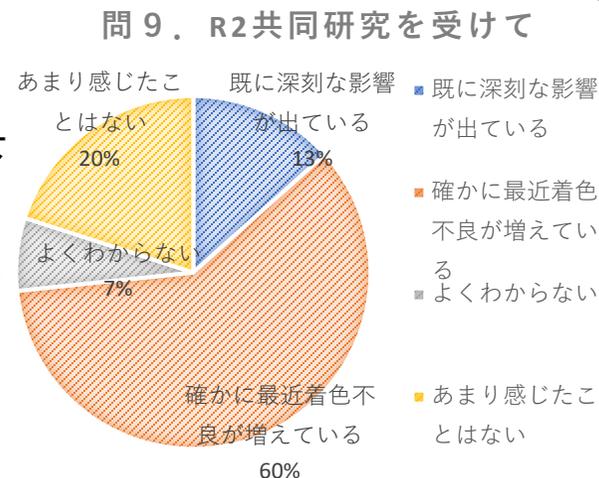


a-2 農業組合、漁業組合との連携による情報収集（富有柿）③

【聞き取り結果 概要】

〈問9. R2センター共同研究結果(9月の高温によって、柿の品質低下(着色不良)が増加する可能性がある予測)を受けての栽培の実感〉

- 「既に深刻な影響が出ている」「確かに最近着色不良が増えている等、着色不良に関しての現場の実感は7割を超えている。
- 他方、畑が北部に位置する地域で栽培を行う農家からは、着色不良に関してあまり実感していないという意見も得られた。
- 共同研究による予測は現場で多く確認されはじめており、また北部の山間地付近では今後も栽培適地としてあり続ける可能性が有るという見解にも合致していたことから、R2共同研究成果の予測の確実性は高いと思われる。



【富有柿農家ヒアリング総括】

- ヒアリングしたすべての農家で気候変動の影響は実感されており、気候変動への適応は喫緊の課題といえる。「出荷時期の見直し」「越冬病害虫の防除策」「多雨、高温等への対策」等が今後求められる。
- 将来温暖化の影響が及ぶことを理解した上で、まずは自分たちでできること(基本的な柿づくりの技術を向上させる)を最大限行い、将来の温暖化に備えていくと答える農家もあり、現場は適応していくことについて、前向きに取り組んでいるため、今後のステークホルダー間での連携を密に適応策を進めていくことが重要と思われる。